

弊社SRI業務に関して、新聞紙上において以下のように紹介されております。

2006年2月27日（月）フジサンケイビジネス i 11面

「社会的責任」も投資の対象に 企業不祥事が続発しています

——ライブドアによる証券取引法違反事件、マンション耐震強度偽装事件、東横インの不正改造問題と企業不祥事が後を絶ちません 「(法令順守や環境配慮、社会貢献といった社会的責任を重視する)CSR経営が浸透してきたのは確かですが、一方で『CSRが大切なのは分かっているが、余裕がないとか、儲かるの』という経営者もいます。経営者間の格差がますます広がると感じています」 「近江商人の『売り手に良し、買い手に良し、世間に良し』の考えで経営にあたらなければ、世間に認められず、企業の持続的成長もかないません。『うそをつかない』のは当たり前のことで、不祥事企業に対する風当たりは以前よりきつくなっているのは事実です」 ——CSR経営を実践するにあたり重要なことは 「外向けに何か特別なことをするというよりも、それぞれの企業の理念を実現・実践して社会に認められることです。誠実な仕事によって、世間から信頼・信用を得ることに尽きます」 ——CSR経営は社員レベルまで理解が進んでいますか 「経営理念はいわば軸、背骨です。軸がしっかりしていれば、何かあったときも判断はぶれず、社会から信頼される強い企業になれます。不祥事が起きたとき、社長、広報部門、現場で言動がばらばらでは信用を失います。大切なのは理念の共有であり、社員と共有してこそ企業の力になります」 ——CSRに積極的な企業に投資する投資信託、社会的責任投資(SRI)ファンドが増えてきましたが 「SRIファンドの数は増えましたが、純資産残高でみればまだまだです。個人投資家が増えたといっても、(一日に何度も売買を繰り返す)デイトレーダーのような“投機家”がほとんど。普通の人にとっては『株は分からない、怖い、損する、怪しげ』なものというイメージで、株式投資がなかなか理解されていません」 ——投資教育が重要になりますね 「直接金融への参加を勧めるのに、SRIは分かりやすい商品だと思います。大切なお金を株式市場に投資するなら、社会的責任を果たす企業を応援するために使いたいという人にとって、SRIの考え方は受け入れやすいからです。また、SRIは自分たちの住む社会を良くしようという投資でもあります。そういった意味でもSRIの重要性は高いと思います」 「CSRに熱心に取り組んでいる企業が、SRIで年金基金を運用することに決めたという例も出てきました。『いつていること』と『やっていること』の一致であり、まさにCSR経営が飾りではなく、本物になったといえる動きです」